

私大の難化 + 大学入試改革!

浪人生・高3生のみなさん! 「私大の難化」への対策は万全ですか!?

高校1・2年生のみなさんには「私大の難化」に加え『大学入試改革』が大きいのかかかってきます。「英語4技能」、「数学・国語の記述化」、「推薦・AOの廃止と改変」に準備していますか!?

一昨年、昨年と「私大の定員厳格化による大幅な難化」が大学受験を揺るがす事態となり、現在の浪人生・高校3年生の皆さんにも不安に思われている方が多いことでしょう。また、高1・2年生には「私大の難化」に加え「大学入試改革」が実行されます。「センター試験」が「大学入学共通テスト」に名称が変わり、「英語の4技能による判定」・「数学・国語の記述化」が実施されます。さらに現在の「推薦入試・AO入試」がなくなり学力テストを伴う形式に改変されます。これは高校生だけにとどまりません。小学生には来年から、中学生には再来年に「新学習指導要領」が実施され、国を挙げての「教育大改革」の嵐が無邪気な小中学生に襲い掛かるうとしています。

浪人生・高校3年生



高校1年生 高校2年生

大学入試改革・教育大改革

大学入試共通テスト

英語4技能

数学・国語記述化

えっ! 推薦・AOがなくなる!!

新しい時代に必要な資質・能力の育成

学びを人生や社会に活かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

小学生 中学生

生きて働く
知識・技能の修得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

私大難化

新学習指導要領

私大難化を偏差値で検証!

経営(一部商)を2016年度と2019年度で比較

(定員過剰の助成金不交付基準:
15年春まで120%、
16年春は117%、17年は114%、
18年は110%、来春も110%)

*英語4技能

センター試験:「読む」「聞く」⇒リーディング200点+リスニング50点から

共通テスト:「読む」「聞く」「書く」「話す」⇒リーディング100点、リスニング100点+民間試験

「アジアで最低レベルの日本の大学生の英語力」を「大学の授業のレベルの内容を英語でコミュニケーションできる大学生」にする!戦後半世紀以上叫ばれながら、何ら変えることができなかった日本の英語教育。国の存亡をかけた改革といっても過言ではありません。しかし、語彙・理論文法・基本英文という基礎がなければ4技能のどれも身につくことはありません。下記でも触れますが、スピーキング・ライティングを適切に教えることができる指導者が公教育にほとんどいないことが英語教育改革実現の最大の課題です。

*数学・国語の記述化

「試行テスト」を分析すると、数学は記述より、問題文の読解力と、数学を事象に適応させる力が問われます。共通テストで高得点を狙うには数学の学力+読解力+応用力が必要です。しかし、平均点の低さから問題の修正が行われるはず。国語は30字以内、40字以内、80字以上120字以内の記述問題があります。問題には解答の書き方の指示があり、それによって採点基準を明確化できるようにしています。この指示が正解を書くヒントになりそうです。

*推薦やAO入試がなくなる!

これまで抜けどきの大学進学の方法であった、推薦やAO入試。大学生の質を大幅に高めるための大学入試改革の一環として、名称および内容の変更が2020年度から行われます。なくなるわけではないから安心。そんなことはありません。「小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績」または「共通テスト」が必須化!大学間での難易度の格差は当然あるでしょう。しかし、安易な抜けどきではなくります。

*新学習指導要領の方針

左図の小中学生を取り囲む三つのスローガン、それが新学習指導要領の方針です。指数関数的に成長するAI、変化が急速で予測困難な現代社会。子供たちをその社会に適応できる人間に教育することが今回の「新学習指導要領」の目的です。子供たちに「生き抜く力」を身につけさせないと、本当に生きていけなくなる!ひいては日本が急速に減衰してしまうという危機感が政府にあるのです。従来の指導要領とはわけが違います。「学習内容の削減は行わない」既存の学習内容を削ることなく、本質的理解と同時に読解力や記述力を高め、主体的・対話的で深い学びを行うためにアクティブラーニング等の手法を活用します。学校公開で悲惨ともいえるアクティブラーニングによる授業に出くわしたことはありませんか。新学習指導要領の最大の問題は「要領を実行できる適切な指導者がほとんどいない」ことにつきま。それはさておき、要領の第一の目標は「英語を必ず習得させる」ということです。そのために現在小学5・6年の週1コマの「聞くこと」「話すこと」を中心とする授業を3・4年に移動し、5・6年では週2コマに授業を増やし「読むこと」「書くこと」を加えるとしています。中学では、授業数は現行のままですが「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の五つに到達目標が設定されています。なんと英語4技能ではなく「5技能」になっています。英単語・熟語等は小学校で700~800、それに加え中学では1600~1800(現行1200)を覚えさせ、高校の文法(仮定法、原形不定詞を使った第5文型...)が中学においてきます。部活に翻弄されている中学生たちは本当にこの変化に対応できるでしょうか?現在、当塾では小学生で英語を希望する生徒に「基礎英語」を使っています。聞き、発音するだけでなく、会話の英文を和文英訳するテストも行っています。同時に、より新学習指導要領に対応できるよう、英語指導ならびに読解力・記述指導に関しさらなる改善を行っています。

大学名	学部	2016年	2019年
定員過剰の助成金不交付基準			
早稲田	商	65	→ 67.5
慶応	商	65	→ 65
上智	経営	65	→ 67.5
明治	経営	60	→ 62.5
青学	経営	60	→ 65
立教	経営	62	→ 65
中央	経営	57.5	→ 62.5
法政	経営	57.5	→ 62.5
日東	経営	52.5	→ 52.5
東洋	経営	52.5	→ 57.5
駒大	経営	50	→ 52.5
専修	経営	47.5	→ 55

偏差値:河合塾参照

私大難化 入試改革を乗り越えるには!
逆転の得意な当塾へ!ご連絡ください!

夏期講習の日程・料金、通常授業料はHPをご確認ください。

地域最大級の個別指導塾

つつじヶ丘個別学習会

本校 小・中学生 教室

高校生教室

調布市西つつじヶ丘3-26-9
植松ビル2F・3F

調布市東つつじヶ丘1-2-21
ジェントリーつつじヶ丘201

TEL 042-440-0880 TEL 03-5314-9583



松永高校教室長



平井小中学生教室長



杉原塾長

ホームページは つつじヶ丘個別学習会 で検索

